

登録コード	TSH19600	開講年度	2026				
授業科目	情報処理特別実験Ⅰ					担当教員	田中 清
英文授業名	Information Processing Laboratory 1					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	電子情報システム工学分野 修士学生
講義室			授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	修士研究の課題を解決する方法（提案法）をアルゴリズムとして記述し、プログラムとして実装できる。 提案法の有用性を実験によって分析・検証し、その因果関係を考察して説明できる。
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ, 2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	自分の研究を筋道を立てて論理的にわかりやすく資料にまとめ、発信できる。
(2)授業の概要	修士研究で求められる上記①～③の到達目標を達成するために、本特別実験では以下を行う。 ①自分の研究課題を解決する方法（提案法）をアルゴリズムで記述し、さらにプログラムとして実装する。 ②実装したプログラムにより実験を行い、その結果をいくつかの観点から分析・検証し、提案法の性能の定量的・定性的な評価を行う。 ③研究した内容を論文や発表資料としてまとめる。						
(3)授業計画	上記①～③に関する進捗報告（プレゼンテーション）を、グループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）で行い、教員および学生間の集約的なディスカッションにより、方向性や内容の確認を行い、これをその後の研究遂行に反映する。これを反復的に行い、研究内容のブラッシュアップを図る。						
(4)成績評価の方法	グループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）の内容から、研究の推進力、得られた結果の分析力を評価する。また、論文執筆や学会発表の内容により、研究の理解度と発信力を評価する。						
(5)成績評価の基準	秀：90点以上（課題解決のための優れたアルゴリズムを考案してプログラム実装し、実験によって得られた結果を十分に分析できている） 優：80点以上90点未満（課題解決のためのアルゴリズムを考案してプログラム実装し、実験によって得られた結果を分析できている） 良：70点以上80点未満（課題解決のためのアルゴリズムを考案してプログラム実装し、実験によって結果は得られているが、十分な分析ができていない） 可：60点以上70点未満（課題解決のためのアルゴリズムを考案してプログラム実装し、実験によって最低限の結果は得られているが、分析ができていない）						
(6)事前事後学習の内容	毎回の進捗報告（プレゼンテーション）には、十分な時間をかけて事前事後学習する必要がある。進捗報告を行うにあたり、現在取り組んでいる課題の進捗状況をスライドにまとめる事前準備を行い、準備した内容をグループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）の場で発表する。その際、教員および学生間の集約的なディスカッションの中で指摘・示唆された事項について方向性や内容を確認する事後学習を行い、これをその後の研究遂行に反映する。これを反復的に行い、研究内容のブラッシュアップを図る。						
(7)履修上の注意	情報処理演習Ⅰ、Ⅱで検討した内容と合わせて、学会発表の原稿やスライドの作成、最終的には修士論文の執筆まで行う。 学会発表の原稿やスライドの作成においては、得られた研究データの整理・分析・考察を入念に行い、研究内容を論理的な文章や数式、グラフ、画像等で表現する。 進捗報告および学会発表した内容を、最終的には修士論文にまとめることに繋げる。						
(8)質問,相談への対応	グループミーディングおよび定期的に行うゼミ（研究室定例報告会）の中で行うことを基本とするが、必要により随時教員室に相談に来ること。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						